

2026 年 9 月 15 日

報道各位

住友林業株式会社

【2027 年国際園芸博覧会 開催半年前】**住友林業館「ひゃくの森」体験ストーリーと最新展示イメージを初公開**

～木と森を多角的な視点から見つめる豊かな体験を提供～

住友林業株式会社（社長：光吉敏郎、本社：東京都千代田区）は 2027 年 3 月 19 日から 9 月 26 日に神奈川県横浜市で開催される「2027 年国際園芸博覧会（以下、GREEN×EXPO 2027）」の開催半年前に合わせて、住友林業館「ひゃくの森」の体験ストーリーと最新の展示イメージパースを初公開します。

住友林業館「ひゃくの森」は、当社が創業以来 330 年以上にわたり森や木を軸にした事業活動を通じて見つめてきた「森や木と人との多様な関わり」を来場者のみなさまと共有する場です。「100EYES, 100FORESTS.（森の姿は、見る人によって変わっていく）」をコンセプトに、森や木を多角的な視点でめぐる体験を提供します。



みなさまを迎える入口直ぐのトンネル（イメージ）



シアター展示（イメージ）

■住友林業館「ひゃくの森」体験ストーリー概要

住友林業館「ひゃくの森」では、トンネル、シアター、ミュージアム、そして 2 階デッキへと続く展示空間を巡りながら、森や木の多様な価値や可能性に触れる体験を提供します。

最初に来場者のみなさまを迎えるのは、森へとつながるトンネルです。「森を守ること」と、「木を伐ること」。一見矛盾するこの問いを携えて、体験はスタートします。シアターやミュージアムでは、多様な生き物が息づく「命の宝庫」としての森、そして植林・育林を経て、私たち人間の暮らしへと届く木の姿をご覧ください。

その先では、エネルギーやバイオ技術など、「知の宝庫」として木が秘める未来の可能性をご紹介します。最後の 2 階デッキでは、普段は見上げる木々を鳥のような目線から見つめ、いつもとは違う森や木の姿に出会う体験が、新しい気づきをもたらします。

木と生きる幸福

住友林業グループ

100 人いれば 100 通りの森の見え方がある。その体験を通じて、自分だけの「森」を見つけていただけることでしょう。



外観(イメージ)

■GREEN×EXPO 2027 への想い

1691 年の創業以来、森林経営を事業の根幹に置き、330 年以上にわたって「木」を軸に事業を展開してきた当社にとって、初めて単独で臨む国際博覧会となります。

住友林業グループは 2030 年までの長期ビジョン「Mission TREEING 2030」で「地球環境」、「人と社会」、「市場経済」の 3 つの価値を同時に実現することを目指しています。私たちは、森林経営から木材・建材の製造・流通、戸建住宅、中大規模木造建築、不動産開発、木質バイオマス発電まで、「木」を軸とした幅広い事業をグローバルに展開しています。これらの事業をつなぐ独自のバリューチェーンが「ウッドサイクル」です。

森林を育て、木を活用し、建築物などに利用し、再び森林を育てていく。この「ウッドサイクル」を循環させることで、森林の若返りにより CO₂吸収量を増やし、木造建築の普及による炭素固定を促進するなど、自社のみならず社会全体の脱炭素への貢献を目指します。

GREEN×EXPO 2027 では「ウッドサイクル」を軸とした住友林業グループのこれまでの取り組みと未来への挑戦を発信するとともに、森を見つめるさまざまな視点との出会いを通じて、来場者のみなさまが森や木の可能性に気づき、それぞれの「森」を見つけるきっかけとなる場を目指します。

Mission TREEING 2030

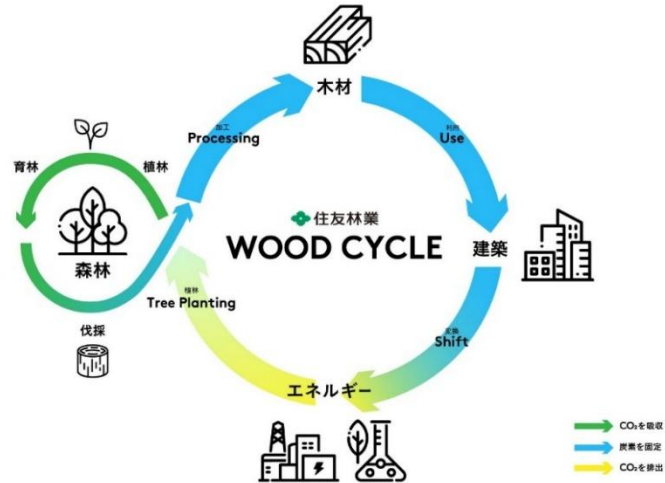
※詳しくはこちらから <https://sfc.jp/information/vision/>

木と生きる幸福

住友林業グループ

■WOOD CYCLE について

※詳しくはこちらから <https://sfc.jp/information/vision/woodsolution/>



■住友林業館「ひゃくの森」コンセプト

住友林業館



森の姿は、見る人によって変わっていく。

ここであなたを待っているのは、森を見つめる 100 の視点。

子どもの目。科学の目。文化、経済、都市の目。

ひとつひとつのまなざしが、森に隠された命と知を映しだし

そこにある新しい可能性を照らしています。

奥へと進むほどに広がっていく、森との物語。

そして、ここを訪れたあなた自身もまた、100の視点のひとつなのです。

さあ、どんな目で森を見よう？

知らなかった森の可能性を巡る旅がはじまります。

木と生きる幸福

住友林業グループ

■住友林業館「ひゃくの森」概要

住友林業館「ひゃくの森」は「100EYES, 100FORESTS. (ハンドレッドアイズ、ハンドレッドフォレストス)」をコンセプトに、木と森を多角的な視点から見つめる体験を提供します。森が育む「命」と「知」に触れ、人と木が共に築いてきた現在の森、そしてこれから創り出す未来の森について考えるきっかけを得ることができます。

■住友林業館「ひゃくの森」特設サイト: <https://sfc.jp/expo2027>

特設サイトでは住友林業館「ひゃくの森」のイメージパース・ロゴや最新トピックスがご覧いただけます。2027年3月19日のGREEN×EXPO 2027開幕に向け、新たなコンテンツや展示・体験の詳細、イベント情報など随時関連情報の更新を予定しています。

■2027年国際園芸博覧会とは

正式名称: 2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)

テーマ: 「幸せを創る明日の風景 (Scenery of the Future for Happiness)」

開催期間: 2027年3月19日(金)～9月26日(日) 192日間

開催場所: 神奈川県横浜市・旧上瀬谷通信施設地区

※AIPH(国際園芸家協会)承認・BIE(博覧会国際事務局)認定の国際博覧会で、世界各国・地域が参加し、花や緑、農、食、環境技術を通じて未来社会を提示する博覧会。会場は、約100ヘクタール(東京ドーム約21個分)の広大な会場空間を舞台に、各国Villageや企業出展、最先端のガーデン展示が展開。計1,500万人の参加が見込まれています。



GREEN×EXPO 2027

公式マスコットキャラクター

トウンクトウンク

©Expo 2027

<リリースに関するお問い合わせ>

住友林業株式会社

GREEN×EXPO 2027 プロジェクト委員会 広報グループ 堀・河村

TEL: 03-3214-2270

木と生きる幸福

住友林業グループ